歩 行 車 「スプリーム」

取扱説明書

安全性を重視したSGマーク付きの製品です。

財団法人製品安全協会が安全な製品として必要な基準作りをし、
その基準に適合した商品にのみこのマークを表示しています。

ご使用になる前に必ずお読みください。またこの取扱説明書は大切に保管してください。

⚠ 警 告

- ご使用前は各部を点検し、特に左右両輪にハンドブレーキが確実に効くかどうか、必ず確認してください。また、パーキングブレーキのかかり具合と解除機能を必ず確かめてください。（4ページ参照）パーキングブレーキが効かない、ゆるい場合は使用をただちに中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 座席を使用する場合は､必ずパーキングブレーキを左右両輪にかけてください。
  また、傾斜地では使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 本製品は車椅子ではありません。人を乗せたままで移動しないでください。
- 座席の上に乗って立ち上がらないでください。また、バスケット内に乳幼児を乗せたり、座席に人を乗せたまま移動しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 使用される場所に十分注意してください。
  凹凸、車道と歩道、踏み切り、エレベーターの出入り口などの段差や溝、エスカレーター、坂道および表面が滑りやすいところで使用される時は特にご注意ください。また、交通量の多いところ、混雑しているところでも十分注意してください。
- 夜間および急勾配の坂道、また、傾斜地（車体が斜めになっての走行）では大変危険ですから使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 歩行時は必ず両手でハンドルグリップを握ってご使用ください。ハンドルグリップ以外の部分（例えば背もたれ）を持って歩行しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 片方のハンドル部分に極端に荷重をかけると左右のバランスが崩れて転倒する恐れがありますので、十分注意してください。また、片方のブレーキだけを握ったり、片方の握りが弱い場合、左右のバランスがくずれ不安定となり転倒する恐れがあります。必ず両手でハンドブレーキをかけ、左右両輪に同時に同じ力をかけてご使用してください。
- バスケットの最大積載量(10kg)を守ってご使用ください。過度の荷物は歩行車のバランスをくずし転倒してケガをする恐れがあります。
- 最大使用者体重（125kg）を守ってご使用ください。

⚠ 安全上のご注意

ご使用になる前に

- 前脚と後脚が完全に開き、しっかりと固定されているかどうか確認してください。
- 各部のネジ類のゆるみがないか必ずチェックしてください。
- 組立および調節は2～4ページの内容に従って確実に行ってください。
- タイヤおよびブレーキの摩耗がないかを定期的に保守･点検し、必要に応じて交換等を行ってください。（お買い上げの販売店にご相談ください。）

この度は歩行車「スプリーム」をお買い上げ頂きありがとうございます。
正しくご使用頂き、お役にたちますようこの説明書をよくお読みください。

■各部の名称

①ハンドルグリップ
②ブレーキレバー
③背もたれ
④ブレーキワイヤー
⑤固定レバー
（※折りたたみ時に使用）
⑥バスケット
⑦キャスター
⑧前フォーク
⑨座席
⑩高さ調節ノブ／ボルト
⑪ハンドルブラケット
⑫本体フレームパイプ

■セット内容

カートンを開けたら、以下のものが入っていることをご確認ください。

●本体……………………………………………………（1 台）

〈付属品〉

●背もたれ ……………………………………………（1 個）
●バスケット …………………………………………（1 個）
●ハンドルブラケット…………………………………（2 組）

■組み立て方法

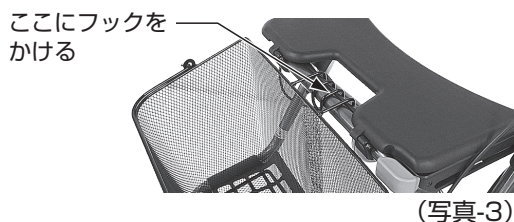
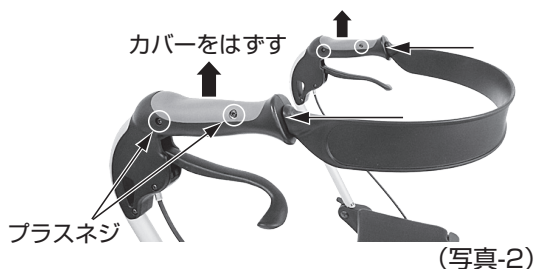
1 座席中央の本体フレームを押し下げ、前脚と後脚を完全に広げ固定します。（写真-1）

2 背もたれを本体に取り付けます。
グリップ側面のプラスネジ（2本）をゆるめ上部カバーをはずします。
エンドキャップをはずし背もたれを取り付けます。
上部カバーをかぶせ、ネジをしっかりと締めつけます。（写真-2）

（注） ハンドル高さを“6”より低い位置で使用する場合、歩行時に座席をはね上げると背もたれと干渉します。その場合は背もたれを取り外してご使用することもできます。

3 バスケットを座席中央の本体フレームにかけて取り付けます。（写真-3）

（注）バスケットが正しく乗っていることを確かめてください。

（写真-1）
（写真-2）
（写真-3）

■高さ調節

ハンドルを使用者に適した高さに調節します。

ハンドルパイプ
高さ調節ノブ

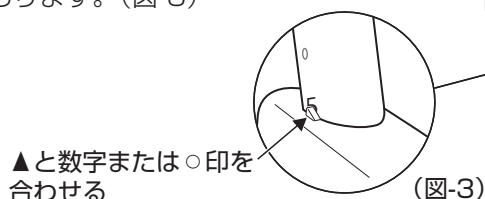
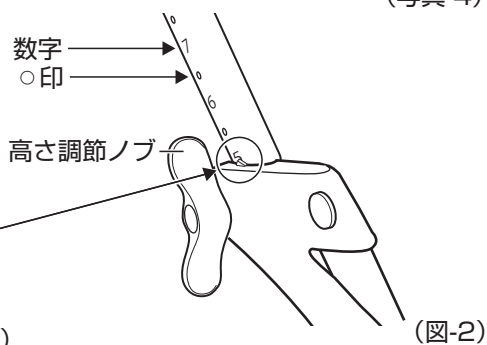
（写真-4）

1 高さ調節ノブを反時計まわりに回しゆるめます。（写真-4）

2 ハンドルパイプを引き上げて高さを調節してください。数字と○印が表示されていますので、必ず左右の位置（高さ）を合わせてバランスをとってください。（図-2）

（注 1） ハンドルパイプの左右の高さが違うとバランスをくずし、転倒してケガをする恐れがあります。

（注 2） ハンドルパイプ受け部にある ▲ とハンドルパイプの数字または○印を合わせてハンドル方向を調節してください。ハンドルを適切な位置で使用しないと安定性が悪くなり転倒してケガをする恐れがあります。（図-3）

（図-3）　（図-2）

（注 3） ハンドル高さの最高位置で「MAX」の表示になります。表示の「X」の位置以上に高くして使用しないでください。バランスをくずし、転倒してケガをする恐れがあります。（写真-5）

（写真-5）

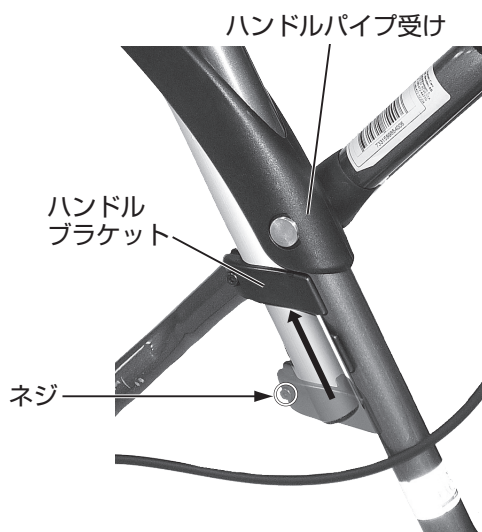
3 高さ調節ノブを時計まわりに回し、しっかりと締めつけます。

4 左右のハンドルブラケットのネジをゆるめ、ハンドルパイプ受けの下部に当たるまで移動します。
ハンドルブラケットのネジを締めて固定します。
これでハンドル高さ位置を記憶させることができます。（写真-6）

（注） ハンドル高さを “1” より高い位置で使用する場合、ハンドルブラケットは取り付けてご使用することはできません。

（写真-6）

5 ４つのキャスターすべてが床面に接していることを確認してください。

（注） 確認は水平な床面で行ってください。

■ブレーキの操作および調整方法

ハンドブレーキの操作

自転車のハンドブレーキを使う要領で、ハンドルグリップとブレーキレバーを同時に握り締めるとブレーキがかかります。歩く時はブレーキレバーから手を放します。
ブレーキをかける時は、両手で左右同時にゆっくり適度に握ってください。（写真-7）

（写真-7）

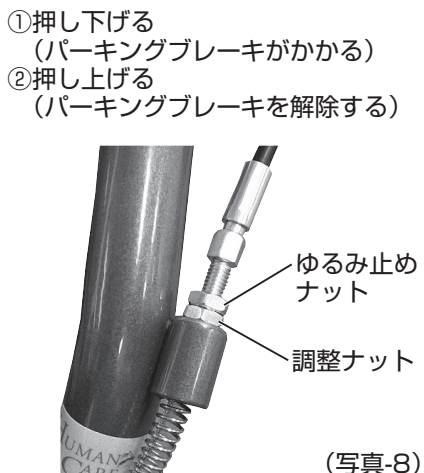
①押し下げる
（パーキングブレーキがかかる）
②押し上げる
（パーキングブレーキを解除する）

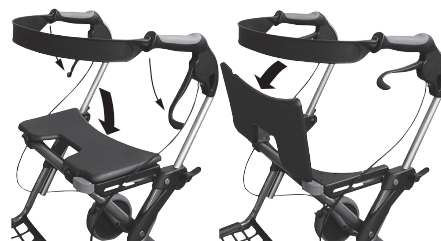
パーキングブレーキの操作

左右両方のブレーキレバーを押し下げるとパーキングブレーキがかかります。パーキングブレーキを解除する時はブレーキレバーを押し上げます。（写真-7）

ハンドブレーキの調整

ブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効き具合はキャスター側のブレーキワイヤーの先端に付いている調整ナットを回して調整することができます。
調整後ゆるみ止めナットで固定してください。（写真-8）
（注）左右のブレーキは同じ効き具合にしてください。

（写真-8）

■座席の使用方法

座席に座る場合は、まず座席を下ろし左右のパーキングブレーキをかけ、動かないことを確認のうえ、ゆっくりと後ろ向きに腰掛けてください。（写真-9）
歩行時は座席をはね上げて脚部のスペースを大きくとってご使用ください。（写真-10）

（写真-9）　（写真-10）

■本体の折りたたみ

①本体を折りたたむ時は、バスケットを取り外します。
②赤色の固定レバーを矢印１の方向に押しながら（写真-11）
③座席中央の本体フレームを持ち、矢印２の方向に引き上げてください。
（注）折りたたみは２段階あります。“カチッ”と音がする位置で止めてください。よりコンパクトにして持ち運ぶ場合はさらに引き上げます。

（写真-11）

【商品仕様】

最大使用者体重 125kg　最大積載量　バスケット：10kg

項目	内容	項目	内容
品　　名	スプリーム	寸　法	●高さ…73 ～ 100cm ●横幅…63cm ●奥行…68cm ●座面高…59cm ●座席サイズ…44 × 22cm ●キャスター径…19.5cm ●折りたたみ時幅……55cm（背もたれ含む）
商品番号	117600		
重　　量	7.9kg		

商品改良のため、仕様は予告なく変更する場合があります。

ご使用前のチェックリスト

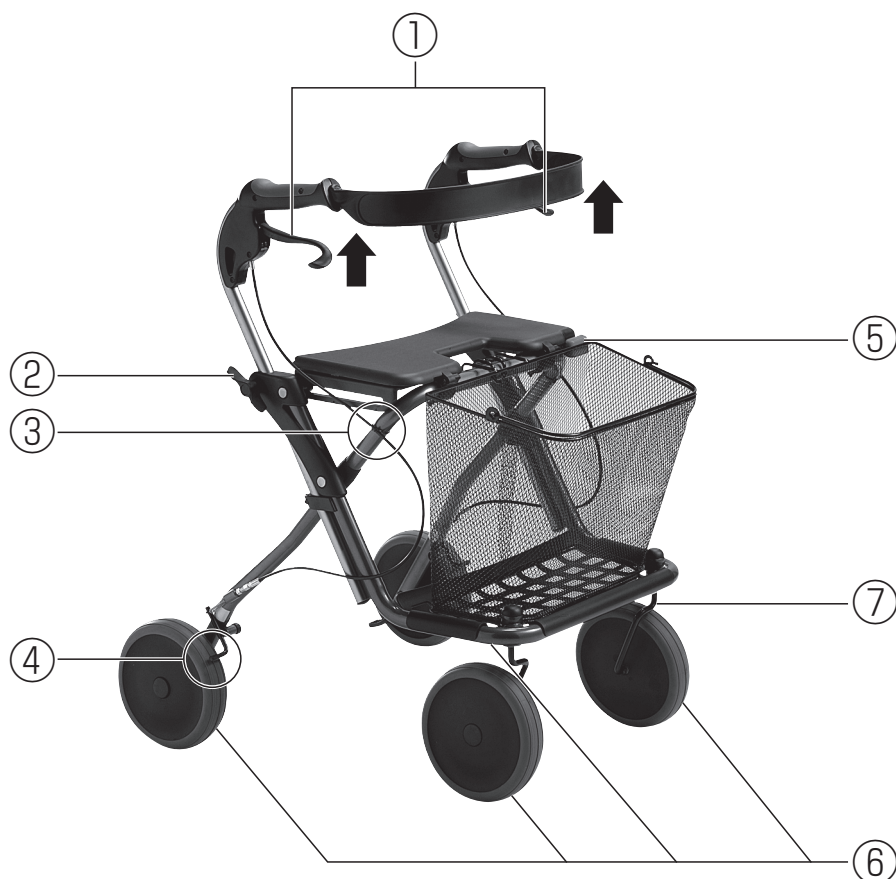
安心してご使用頂くために、定期的にこの点検表にそって各部を点検し、修理等が必要な場合はお買い上げになった販売店にご相談ください。

チェックリスト		
組み立て	組み立てや折りたたみがスムーズに出来るか	
ハンドル	ハンドルにゆるみやガタツキがないか	
	スムーズに操作することが出来るか	
	左右の高さは同じか	
ブレーキレバー	ハンドブレーキは左右ともに確実に効くか	
	パーキングブレーキは左右ともに確実に効くか	
	ブレーキワイヤーがゆるんでいないか	
各部のボルト	高さ調節ノブ／ボルトは確実に締め付けているか	
	各部のボルト、ナットにゆるみはないか	
	各部のボルト、ナットはなくなっていないか	
前後のキャスター	摩耗や亀裂はないか	
	動作時にきしみ音や異常な音はしないか	
前フォーク（左右）	スムーズに回転するか	
	前フォーク部にガタツキがないか	

【お手入れのしかた】

- 本製品は清掃して清潔を保ってください。
- 適度にうすめた中性洗剤をスポンジかやわらかい布に含ませて汚れをきれいに拭き取ってください。
- 水で洗剤を流し、陰干しにするか、乾いた布できれいに拭き取ってください。
- タワシや磨き粉、研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。
（塗装がはげて、サビ、変色、劣化の原因となります。）
- シンナー、クレゾール塩素系洗剤などは使用しないでください。
（プラスチックが劣化または破損してケガの原因となることがあります。）
- 保管時は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
（サビ、変色等各部の劣化の原因となることがあります。）

安全にご使用頂くために以下の事柄を再度確認してください。

- キャスターが水に濡れるとブレーキがすべり、停止しない場合があります。
  特に水たまりや、雨の日はご使用にならないでください。
- 折りたたんだ状態では自立しません。転倒する恐れがあるので十分ご注意ください。
- 特に小さいお子様がいるご家庭では折りたたみストラップやブレーキワイヤーが絡まったり、指・腕・頭などをはさんだりしないようご注意ください。

①ブレーキは左右同時にかかるように調整してください。また、ブレーキ操作は必ず両手で左右同時に同じ力をかけてご使用ください。片手だけで握ったり、片方の握りが弱い場合、左右のバランスがくずれ、不安定となり転倒してケガをする恐れがあります。

②高さ調節ノブボルトが確実に締めつけてあることを確認してください。

③組み立て後、ブレーキワイヤーの固定バンドの位置を調整し、たわみをなくしてください。
他のものに引っかかり危険です。

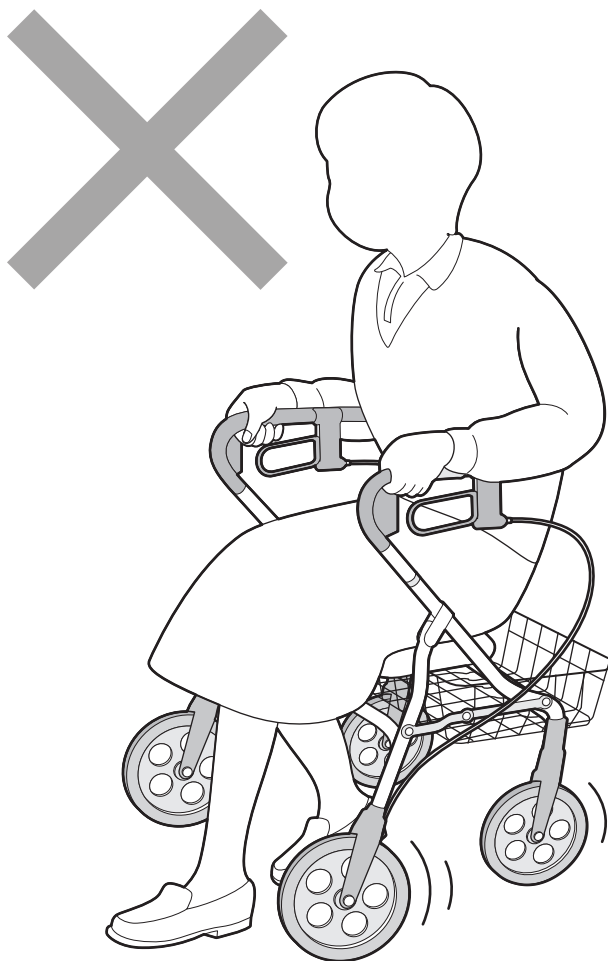
④ブレーキパッドとキャスターのすき間はブレーキの効き具合を確かめながら調整してください。

⑤前脚と後脚を確実に開いてください。
赤色の固定レバーが“カチッ”と音がするまで座席中央の本体フレームを押し下げてください。

⑥キャスターの保護シートを必ず４つとも取り除いてください。取り忘れるとブレーキの効きが悪くなります。

⑦左右の前フォークがスムーズに回転するか、ガタツキがないかを確認してください。

⚠ 危ない使い方は絶対にしないでください。

車椅子のような使い方はしない。

※イラストは本製品とは異なります。

■座席に座ったまま脚で漕ぐなどして移動しないでください。
また、人を乗せたままで移動しないでください。

■座席を使用する場合は、必ずパーキングブレーキを左右両輪にかけてください。
また、傾斜地では使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。

■座席の上に乗って立ち上がらないでください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書・本体警告ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
2．保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
（イ）本書のご提示がない場合。
（ロ）本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
（ニ）お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
（ホ）火災・公害および地震・雷・風水害その他天災地変などの、外部に原因がある故障・損傷。
（ヘ）以下の消耗部品については無料修理の適用外です。
・キャスター
・ブレーキワイヤー
3．本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

★保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

修理メモ

〈輸入・販売元〉

〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-69
商品に関するお問い合わせ
受付時間／平日9:00～17:00
無料通話 0120-798-777
URL http://taketora-web.com/ E-mail info@taketora-web.com

〈製造元〉Human Care HC AB (Made in China)

AD-07